

## 大阪維新の会大阪府議会議員団

代 表 森 和臣

幹 事 長 杉江 友介

政務調査会長 笹川 理

総 務 会 長 西林 克敏

**新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望(令和3年度・第3弾)**

現在、「緊急事態宣言」が継続され、不要不急の外出自粛や休業要請など、府民や事業者の皆様の多大なご協力により、新規陽性者数の急激な増加傾向は抑えられつつあるが、依然として、病床は逼迫状況にあり、医療体制は大変厳しい状態が続いている。この有事ともいえる危機的な状況から、府民の命や医療現場等を守るため、今後本格化するワクチン接種をはじめとする感染症対策において、府内市町村及び国とより一層連携を図るとともに、平時の手法に限定せず、大胆な方策等も含めて対策を講じていく必要があると考える。

このような考えと危機意識のもと、下記項目について、緊急に要望する。

1. 府が実施主体となり、府域全域を対象とした大規模集団接種会場を早期に設けること。また、高齢者をはじめワクチン接種を受ける者の利便性を考慮し、府内に複数箇所の設置を行うこと。なお、大規模集団接種の実施にあたっては、本来の接種主体である市町村の接種事務に支障が生じないように、接種を行う者の確保や接種予約等において最大限配慮すること。
2. ワクチン接種に係る医療従事者の確保が課題となっていることから、医師・看護師・歯科医師だけではなく、国が定めた研修や実習を受けて認定された者が、ワクチン接種及びそのサポートを行うことができる制度を構築し、国民が一日でも早くワクチン接種を完了できるよう、国に対して求めること。
3. 現在のコロナ病床の大変厳しい状況と今後の感染再拡大に備え、且つ、がん患者や様々な治療・手術を必要とする患者に治療延期等の大きなしわ寄せがいかないようにするため、府域の総合的な医療体制の強化を図り、コロナ感染症に係る重症及び軽症中等症の病床を今以上に確保できるよう、支援に努めること。
4. 新型コロナウイルス新規感染者の増加により、入院・宿泊療養などの調整業務等を担う保健師や保健所職員の業務が増大していることから、保健所人員の更なる確保を急ぐこと。また、保健師の業務分担を検討し、対応の迅速化と効率化を進めること。
5. 宿泊療養者・自宅療養者の症状が悪化しないよう、予防的観点からの措置に努めるとともに、症状が悪化した際に対応できる医療的ケア・診療(オンライン診療を含む)の体制を更に強化すること。
6. 新型コロナウイルス感染症関連の府の対応業務は、府職員の頑張りや献身的な活動により支えられていることから、今一度、職員の心身の健康状態を把握し、産業医やカウンセラーに協力いただいて、その勤務状況と心身のバランスを定期的にチェックする等の対策を講じること。

7. 大阪府営業時間短縮協力金(第1期分)について、未だ56%の支給状況となっており、一日も早い支給完了に向け審査体制を更に強化すること。また、1期目支給者の2期以降の支給については、審査の効率化を図り、支給ペースを大幅に改善すること。更に、4期目以降については、申請方法の簡素化及び審査体制の抜本的な見直しを図り、支給完了時期の目標も明確にし、業務を遂行すること。
8. 飲食店等における営業時間短縮や酒類提供自粛の要請などに対して、ルールを逸脱しながら営業を続け、協力金を受給するといった不正があれば、不公平を生み出すことになる。そういった事態が発生しないよう、対策に努めること。
9. 飲食店等への休業等により、酒類販売事業者への影響も深刻化していることから、府が積極的な支援策を講じること。
10. インドで猛威を振るっている変異株が国内に流入することを防ぐため、インド等からの入国・帰国者に対する14日程度の指定ホテルでの滞在を義務付けるなど、今以上の水際対策を早急に徹底するよう、政府に求めること。